令和元年度会派「尽誠」及び無会派議員による
先進地等行政視察研修に関する報告書

令和2年1月18日

長浜市議会議長　押谷與茂嗣　様

長浜市議会議員　丹 生 隆 明 [redacted]

私が出席した行政視察の結果について、次のとおり報告します。

1．研修日時　　令和元年12月20日（金）　午後1時30分～3時
2．研 修 先　　飯田市商業・市街地活性課及び㈱飯田まちづくりカンパニー
3．研修テーマ　㈱飯田まちづくりカンパニー（都市再生推進法人）の現状と課題等について
4．研修調査事項

㈱飯田まちづくりカンパニー（都市再生推進法人）の現状と課題等について

①㈱飯田まちづくりカンパニーの事業概要（経営状況を含む）及び行政との関わり・連携について

㈱飯田まちづくりカンパニーは、「丘の上」中心市街地を南信の中核都市として、10万人都市の顔として、市民が誇りを持てる街として再生しようとの思いを一つにする市民、商店，企業が中心となって設立された市民資本の第三セクター「まちづくりの総合支援会社」

中心市街地再生への5つの視点

1．生活と交流と仕事等の都市型機能を合わせもった、安全で便利で快適な、暮らしよい環境。
2．中心市街地全体が一つの共同体であり、公共性を持った市民財産。
3．中心市街地の土地、建物の所有と利用に関して、生活者の立

場に立った、より合理的な権利関係の調整、マネジメント。

4．　土地、建物の所有者およびそこに生活する人々の利益となるよう、商業地、生活地としてのポテンシャルの向上。

5．　官、民連携を大切にした市民主導。

②都市再生推進法人としての業務のすみわけについて

㈱飯田まちづくりカンパニーは、平成10年8月3日に設立され資本金2億1,200万円で中心市街地再生の調査、研究、企画等シンクタンク部門と、自らが開発の事業主となる事業部門、民間の事業投資を支援するプロデューサー部門を合わせ持ち、さらには店舗のサポートやイベントを企画、実施のサポートといった中心市街地活性化のための総合支援会社。と説明されている。出資金の詳細は法人（19社）8,800万円　飯田市3,000万円　個人（15人）2,900万円　日本政策投資銀行2,000万円　飯田信用金庫2,000万円　長野銀行1,000万円　八十二銀行1,000万円　飯田商工会議所500万円

③㈱飯田まちづくりカンパニーの課題について

飯田市で昭和22年4月に発生した「飯田の大火」で城下町の古い面影を残す市街地の3分の2を焼き尽くした。復興に向け、防災用道路として「裏回線」が設けられ防火用道路の中央には、地元中学生の発案によってりんごの木植えられています。将来に向けての多数のりんごの木の管理について大変な学生たちの労力が必要性を感ずる時、感動すら覚えました。

④㈱飯田まちづくりカンパニーの今後の事業展開について

店舗の状況や街並みを見るとき整然とされている状況は確認され、コンパクトな中においてきれいな街並みが見受けられたというのが実

感するところです。

説明の中で財務諸表等の詳細については今ひとつ具体的には掌握出来なかったところが見受けられ、残念なところでした。

5．　行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

まちづくりの背景には「飯田の大火」がおおきく影響している様子で、道路の整備においても相当防災面に力を入れているようでした。中心市街地再生へは５つの視点に　㈱飯田まちづくりカンパニーが総合支援会社としてマネジメントに関わっており、現地案内で各施設の説明を受けたときもその様子が分かりました。しかし、㈱飯田まちづくりカンパニーは、官民連携を図り全体的なマネジメントには関わっているがそれぞれ事業者とのバランスを持ち、一線の距離を取りながら支援されているようでした。

一方、長浜市の「えきまち長浜」の駅周辺のまちづくりは、場所が長浜の玄関口であり、市からの出資率や市の関わり具合が違っており、また商業ビルの管理運営や賑わい創出面など、会社設立の経緯も異なっているようで、研修内容全部が活かせることは困難であり、それぞれの地域特性やまちづくり背景にも大きく関係しています。現地で聞いた色々な話や貰った資料を読み直し、参考となる事項を今後の長浜市のまちづくりに活かしたいと思います。